

平成28年度 事業計画書（案）

2016年(平成28年)4月1日～2017年(平成29年)3月31日

1. 概況

本年は当法人が設立されて2年目となり、前年度の事業内容を踏襲し、定款に掲げる4つの事業目的の中から、「2・事業活動部門」に記す事業を継続的に行うこととし、事業の効率的推進を図る。また、法人の円滑な運営並びに事業内容の広宣活動にも注力する。定款に掲げる事業目的は以下の通り。

- (1) 地域社会問題の現状理解のための学術的調査、研究、啓発および人材派遣等の事業
- (2) 地域社会問題解決のためのプランニングや実践活動およびその支援等を行う事業
- (3) 上記事業を行っている各主体へのアドバイスや提言等を行う事業
- (4) その他当法人の目的を達するために必要な事業

2. 事業活動部門

(1) テクノスクールの開催（助成による啓発活動）

①人口減少時代を迎え、家族や集落および地方自治体などの地域づくりについて、社会学者である徳野貞雄が豊富な経験と事例をもとに、講義形式の研究会を行う。対象者は、九州北部の一般市民、学生、行政関係者など幅広く募集する。開講は、毎月1回の開講とし、開催場所は福岡市内と熊本県菊池市とする。また徳野が提唱する「役立ちプレミアム世代」の普及と組織化を行う。

②前項の研究成果として、公開シンポジウム（「ふるさとシンポジウム」）を開催する。テクノスクール受講者で実行委員会を立ち上げ、開催地の地域の住民や行政の助力を得ると同時に波及効果をもたらす。本年度は、2017年に大分県耶馬溪での開催を予定している。

本事業は、今年度は公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団の助成を受けて実施する。

(2) 集落点検の実施（依頼による調査活動）

依頼のあった各地を対象として、徳野貞雄氏が専門である地域社会学で行う集落点検手法を用いて地域社会問題解決のための調査を行う。平成28年度の調査予定地は以下の通り。

①佐賀県唐津市馬渡島集落点検調査

依頼者：唐津市役所

前年度からの継続事業である馬渡島を対象として引き続き調査を行う。離島過疎地として島の維持存続を目的とする。

調査方法：前年度行った島内の各種グループや団体の聞き取り調査、アンケート

調査の結果を元に、社会構造や馬渡島諸団体の動向を調査し、島存続の可能性を探る。

調査時期：平成 29 年 3 月までに、調査結果を報告予定。

②長崎県東彼杵町集落点検調査

依頼者：長崎県東彼杵町役場

前年度からの継続事業である長崎県東彼杵町を対象として引き続き調査を実施する。今年度は前年度での調査結果を元に、10 年後の集落を担うリーダーを育成するための人材派遣事業を行う。

調査方法：T 型集落点検、その他

調査時期：平成 29 年 3 月末までに、調査結果報告会を開催し、報告書を発行する。

(3) その他

①講演活動（依頼による啓発活動）

代表理事の徳野貞雄氏が、これまでの豊富な経験と実践活動をもとに、農村や地域の諸問題について、一般市民に広く講演活動を行う。

②ホームページの管理・運営

ホームページにて、活動実績や現在行っている事業などをリアルタイムで掲載し、広く本法人の事業内容を知らしめ、事業活動の充実を図る。

③メールマガジン（「トクノレター」）の開設・管理・運営

当法人の活動内容をより深く告知し発信するために、月に 1 度を目途としたメールマガジン（「トクノレター」）を開設する。当面は、賛助会員を中心としたメンバーを対象とし、事業活動などの紹介や徳野貞雄氏によるコラムなどを掲載する。

④その他

以上